

平成18年度 第2回 志度高校学校会議報告書

2006.11.21

日時 平成18年11月21日(火) 13:40~15:30 (於 志度高校新体育館)

議事内容報告

(1) 学校長挨拶

今回で通算5回目になる。全校生の前で行うのは初めてのことである。代表の方には活発な議論をお願いしたい。志度高校を良くするためにやっている。生徒の皆さんは自分のこととして受け止めて欲しい。

(2) 代表者自己紹介

(3) 議長選出 溝淵正起(事務局教職員)が議長として選出される。

議長より(報告)

教頭席の後に新しい夏服を展示している。平成16年度のプレ学校会議から議論を重ねてきてデザインが決定された。

制服担当者より

アンケートから総合的に判断して冠野のものに決定した。1,2年生からの要望に応じて若干の微調整を行うかもしれない。来年度の一年生から着用することになる。

(4) 議事

【制服規定に関する提案について】

- ・セーターの規制緩和に関する提案
- ・靴下の規制緩和に関する提案

教職員からの回答

教職員 規制緩和はしない。教職員は協議し、苦しい判断をした。具体的な提案をせよといったん生徒に返し、提案は深化してはいるが、規制緩和をしない理由は3つある。

理由1 現行の規則が守れていない。

靴が白を基調としていない。下着の色の派手な者も目立つ。市販のセーターを着用しているものが少なくないなど

理由2 大きなものを着るなど風紀が乱れる心配がある。

風紀が乱れ、他校で困っているところもある。

理由3 社会的に指定セーターは無茶な要求でない。

規制緩和は当たり前でない。

生徒 前々回の再提案の内容である「安い、体調に合わせる」についてどう考えているか。

教職員 そこをつかれると痛い。自由化はそういう長所はある。だらしなくなればいいのではという教職員の意見もある。しかし、温度調節以上に今は志度高生の服装を正すことの方が大事と考えている。

保護者 冬の制服に今のセーターは似合っている。安いにこしたことはないが、今のセーターで金額的に特に問題はない。体調に合わせる着方も高校生だから考えることができるはず。現状のままでよいという保護者全員の意見である。

生徒 今は服装を正すべきとの意見であるが、全校生徒の服装をチェックをすれば考えてもらえるか。

教職員 考えることになると思う。君たちには指定靴の実績がある。補足として、指定セーターを変更するという考え方もあると思う。どうか？

生徒 全校生徒のアンケート結果から自由化を求めた。今の先生の意見を全校生からまたアンケートをとって、次の機会に回答したい。

教職員 服装がよろしくない生徒と話をする機会があった。学校会議でどんな話し合いがされているか聞いてみると、知らないという。セーターや靴下のことが協議されているというと、そうだった気もするとの答え。私は、君たち一人ひとりの協力が必要ですよと言った。生徒会役員は全校生の協力を

得て頑張っ欲しい。

生徒 くるぶしソックスや女子の白ソックスを変更したら何が問題になるのか。

教職員 靴下については、先生方の意見としてはセーターに比べ厳しいものがある。ネクタイの姿にくるぶしソックスは似合わない。学校ではあらたまった服装をするという考え方をしている。靴下で涼しいというのは説得力がない。女子は制服には白ソックスがいい。サイズがないということはないだろうという教職員の意見が多かった。

議長 生徒はいったん持ち帰って、今後どうするか考えてください。

【授業をよりよくするための提案（教職員）について】

教職員からの提案

教職員 「授業で学び成長する」

1. 授業で学ぶための準備をする
2. 授業に集中する
3. わからないことをそのままにしない
4. クラスの仲間と一緒に学ぶ
5. 自分には関係ないと思わない

ある意味当たり前のことを提案しているが、それを提案するのは生徒から授業がつまらない、おもしろくないという話を聞くし、教員から考えてもすべての授業がうまくいっているとは言いにくい。教員にどんな考えをもっているかアンケートをとった。チャイムが鳴っても席についていない。ノートをとることで満足している。私語をする生徒もいる。突っ伏して寝る生徒もいる。

1学期の生徒からのアンケートでは、わからなくても先生に質問しない65%、自分の意見が言える生徒は少ない。少しでもよくしたいと考え、教員としては授業研究をやっているが、よくなっているという実感はあまりない。皆さんと授業について考える機会をもてればいいと考え提案した。楽しみな授業がある65%、教え方に満足している35%との回答もあった。生徒の側からも期待している点や不満のある点等々あると思う。意見を聞きたい。

議長 生徒からも授業に関する意見がでている。これまでオブザーバーには発言権はないとしてきたが、今回生徒の申し出により各クラス代表から意見を言ってもらおう機会を設けたい。

生徒からの意見

生徒 (1年1組から3年5組までクラス代表が発表。内容は寝ている、私語をする、先生の注意を聞かない生徒がいる。わからないところを友達に聞くと注意される。授業が一方的でつまらない等)

- 生徒
1. 授業中に授業に関係ないことをしゃべらない
 2. 授業中寝ない
 3. 積極的に意見を出し合う
 4. 設備について(ロッカーの設置など)

生徒の取り組みや姿勢だけを責めるのではなく、教職員が中心となって授業を変えていかなければならないところもあると思います。

生徒 「授業は教師、生徒とともに力をあわせて作っていくもの」とはどういうことか。

教職員 教師は計画をたてて授業に行く。積極的にノッてきてくれないといい授業にならない。教員から見て、生徒の皆がいきいきと学んでくれた授業が気持ちのいい授業。このような授業は先生だけでは成り立たない。生徒の積極的な参加が必要。生徒側からも先生がしっかりと授業をしてあげることが必要になると思う。その意味でお互いの協力が必要である。

生徒 高校の授業は受け身の授業。それをよくするには生徒はどれくらい協力すればいいのか。

教職員 どのくらいかといえば、資料5ページのとおりということになる。受け身の授業というのはどうかと。事前にテキストをみて疑問をもって授業をうけるのと、ただわかりやすく教えられるのではちがうのではないか。

議長 高校の授業は受け身に思いますか。

生徒 クラスによって違う。受け身になってるクラスもあるし、うるさいけど積極的にやっているクラスもあると思う。

生徒 力を合わせて授業をつくるというのは確かにそうですが、教師がよい授業、興味のもてるものをや

る必要があるのでは。

教職員 今回の発言が完璧な授業をすれば協力できる、教員が完璧な授業をしてはじめて協力できるというスタンスであれば、それは違うのではないかと思う。不十分な点はあっても努力して協力していくものであると思う。

教職員 いい授業をすればよいわけだが、このような提案をするのはプロとして敗北との感じもある。ただ、言えばわかってくれるだろうと思って言っている。教員は授業をするときには1人しかいない。君らの協力が必要。うまくいった授業というのは皆さんがどれだけ学んだかで決まる。授業をなかなか聞いてくれない、寝ている、という状況はなんとかなりませんかということをやっている。

保護者 話をきいて少しびっくり。授業は静かに聞いているものと認識していた。生徒は私語をせずに話をきいてほしい。そこからスタートしてほしい。社会に出ると仕事中に私語をするというのはいりえない。

生徒 質問です。積極的授業とは？多くの意見がでるのがよいのか、しっかり静かに取り組むのが積極的なのか。

教職員 いろんなとらえかたがあると思う。例えばこの会で全員が手をあげてしゃべりまくるというのでは会は成立しない。ただうなずくというのでも参加しているといえる。今の授業では参加していない状況が現にある。自分から知識をつかみとっていく姿勢であってほしい。

生徒 先生、授業によって積極的な状態を教員の方で言って欲しい。

教職員 積極的な状態とは、見た目でこうだったらというのはない。教科の特性があったりするので、積極的というのは見た目で考えないでほしい。

生徒 理解しようとして先生に聞いても無視されたりすることがある。

教職員 個別な出来事についてはわかりませんが、そのようなことがあったのなら残念だし、教職員の側がなおしていかないといけない。

教職員 積極的な状態については、我々教員でも話し合っていく必要がある。

生徒 先生の性格によってもいろいろな問題もおこっていると思う。

教職員 保護者から驚いたという話があったので付け加えると、大学の先生が志度高生の授業を参観した際、とても落ち着いて学習に取り組んでいるし、知的な雰囲気があるという話があった。生徒の皆さんにもそういう見方があったということ伝えておく。

議長 この提案に対して全校生徒の意見を集約して次回、回答を検討してほしい

【その他】

・1学期クラスマッチの廃止に関して（報告）

教職員 1学期に生徒中心のクラスマッチを行ってみての教職員のアンケートから、1学期クラスマッチは実施する方向で残す。

・志度高校教育ビジョンの更新について

教職員 まだ案がまとまらないので次回に持ち越す。

香川大学柳沢良明教授からの指導助言

1 だれが主役か

形は生徒・保・教が主役ですが、一番の主役は生徒。皆さんの学校だから。代表者だけが主役ではない。皆さんが主役。皆が意見を言うことは物理的に無理。だから代表者が言ってくれている。みんなが学校をつくる。

2 主役はなにをするのか

言葉と論理で話をする。社会はこういう仕組みでなりたっている。今この仕組みがある高校は県内では志度高だけ。言葉で物事は解決していく。

3 合意形成をしている

叫んでも何も変わらない。論理をもって話をし、納得する。合意を形成する。大学生でもなかなかこ

こまでの会はできない。自信をもって会を続けて欲しい。無関心だと何もかわらない。

学校長挨拶

はじめて全校生が参加する形で行った。無駄におわらせないためにもオブザーバーの諸君も考えてほしい。今回話し合われたことをいかに実行するかにかかっている。

以上、志度高校学校会議で協議された内容について報告いたします。

志度高校学校会議事務局